

令和6年度学校評価 自己評価表

愛媛県立新居浜西高等学校
全日制 学校番号5

教育方針	自ら人格を磨き、徳・知・体の調和のとれた、個性豊かで国際感覚にあふれ、我が国の発展に貢献することのできる、心身ともに健全な人間を育成する。	重点目標	未来を創造し、社会に貢献できる 人材の育成 ― 自らを発信する力・他者と協働 する力・自他を寛容する力 ―
------	---	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学力の向上	家庭学習の充実と 基礎的な知識や技能の定着	家庭学習時間 1年生3時間、2年生4時間、3年生5時間以上 [A:設定時間以上、 B:設定時間－0.5時間未満、 C:設定時間－0.5時間～1時間、 D:設定時間－1時間～1.5時間、 E:設定時間－1.5時間以上]	A B A	家庭学習時間（1月末現在） 1年生 3.59時間 2年生 3.60時間 3年生 5.18時間	・目標数値をクリアしていても、個人により大きく差があり、目標達成の意識に隔たりを感じる。だんだんと学習時間の減少する学年もある。
		対外模試偏差値平均 1・2年生 58以上 [A:58以上、B:57以上、C:56以上、 D:55以上、E:55未満] 3年生 53以上 [A:53以上、B:52以上、C:51以上、 D:50以上、E:50未満]	D	11月進研模試結果 1年生3教科総合偏差値 54.7 （昨年度比+0.4）1月分2/15判明 2年生3教科総合偏差値 55.0 （昨年度比+0.3）1月分2/12判明 3年生5教科総合偏差値 50.5 （昨年度比-1.6）	・各教科において、学びの個別最適化を促進するとともに、各学年においても「進路指導基本方針」に基づき、統一した認識の下、進路指導を行う。
	授業の改善や学習指導力の向上	I C Tの活用や評価等に関する研修会の充実 [A:5回以上、B:4回、C:3回、 D:2回、E:2回未満]	B	・I C Tの活用や評価に限定した内容ではなかったが、進学指導研究推進プログラムに係る公開授業及び情報交換会（数学・理科）2回、教職員対象研修会2回（夏季休業中オンライン、2月講師招聘）を実施し、指導力向上に努めた。	・教務課と協力し、評価に関する研修を充実させる。また、オンライン研修を積極的に取り入れ、時間を有効活用しながら、指導力の向上を目指す。
		研究授業や相互授業参観を通じた授業改善の推進 授業参観回数 [A:6回以上、B:5回、C:4回、 D:2回、E:2回未満]	A	・研究授業の実施：初任者3名6回（6月、9月、11月、1月）、キャリアアップ研修2名2回（9月） ・相互授業参観の実施（6月・11月）	・教科内や校内で相互授業参観や教育研究集会で得た学びの共有を目指す。

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

可能性の追求	自己実現を目指す進路指導	国公立大学合格者の割合 55%以上 [A:55%以上、B:54%以上、 C:53%以上、D:52%以上、 E:52%未満]	A	・総合型・学校推薦型選抜入試で 52 名が合格した。 ・一般選抜入試で 105 名が合格した。 ・合計 157 名（在籍者 269 名（58.4%））合格した。	・確かな学力を育成するとともに、「仰」における課題研究の結果や、各種活動歴を生かし、総合型・学校推薦選抜型にも積極的に挑戦する。
		難関国立大学及び医学部医学科合格者の割合 5 %以上 [A:5.0%以上、 B:4.7%以上、 C:4.4%以上、 D:4.1%以上、 E:4.1%未満]	A	・総合型・学校推薦型選抜入試で 8 人が合格した。（大阪 2、九州 4、神戸 2） ・一般選抜入試で 13 名が合格した。（東京 1、京都 3、東京科学（医） 1、一橋 1、大阪 2、九州 2、神戸 3） ・合計 21 名（7.8%）が合格した。	・難関大学へ進学した卒業生との座談会や、各大学の出張講義等を活用し、生徒の意識高揚を図るとともに、個別指導を充実させる。
		生徒の進路実現につながる講演、講義、行事等の充実 生徒アンケート 5 「そう思う」 以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「そう思う」以上 90.5% ・「岡山大学大学院生によるロールモデル紹介を通じた高大連携事業」や「先輩と語る」など、卒業生と連携した行事に力を入れることで、進路意識の高揚に努めた。	・卒業生や大学の協力を仰ぎながら、生徒のニーズを踏まえ、期待に応えられる行事を、今後も積極的に実施していく。
		進路面接年間 4 回以上 [A: 4 回以上、B: 3 回、C: 2 回、 D: 1 回、E: 0 回]	A	・各ホームルーム担任を中心に、平均年間 5 回は進路面接を行うなど、計画以上の取組が実施できている。	・実施回数だけでなく、生徒が話しやすい雰囲気醸成し、対話を重ねることで、生徒の進路目標実現につなげる。
	読書活動の充実	平均読書冊数 <u>7 冊以上</u> [A: <u>7 冊以上</u> 、B: <u>5 冊以上</u> 、 C: <u>3 冊以上</u> 、D: <u>2 冊以上</u> 、 E: <u>2 冊未満</u>]	E	平均読書冊数 1.5 冊 （延 1176 冊 3 月 14 日現在）	・マイ・ブレイン読書を含む読書推進、読書記録を喚起する回数を増やし意識改善を図る。調べ学習や教科での学習に図書室の利用機会を増やし、書籍に触れる機会を増加させる。
	進路探究「仰」の充実	課題研究の充実 生徒アンケート 8 「そう思う」 以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 89.0%	課題研究センターの内容に方向転換した初年度としてはまずまずの評価と思われる。2 項目とも改善すべき点を洗い出

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

		キャリアガイダンス、体験学習等による進路意識の高揚 生徒アンケート9「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 89.8%	したい。
	国際理解教育の推進	国際交流や国際理解教育の推進 生徒アンケート10「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	E	生徒アンケート「そう思う」以上 49.6%	・一教科だけで対処できる案件ではないが、新規に取り組めることがないか検討したい。
豊かな人間性・たくましい心身の育成	部活動の充実と文武両道	部活動加入率 84%以上 [A:90%以上、B:85%以上、 C:80%以上、D:75%以上、 E:75%未満] 県総体 200 名以上 [A:220 名以上、B:200 名以上、 C:180 名以上、D:160 名以上、 E:160 名未満] 県高文祭 100 名以上 [A:100 名以上、B:95 名以上、 C:90 名以上、D:85 名以上、 E:85 名未満]	B	部活動加入率 86.0% 県総体出場 233 名 県高文祭出場 105 名 ・3 項目中 2 つの数値目標を達成した。文武両道を目指し、限られた時間を有効に使い、それぞれの目標に向かい励んだものと思われる。	・これからの部活動再編の中でも、加入したいと思う部活動を学校内や学校の枠を超えて創り上げていく。 ・自らの役割を認識し、仲間と切磋琢磨できる部活動の環境を整えていく。 ・一人一人の個性を伸ばしながらも、他者を受容し、心身共に健康で協力できる集団作りを進めていく。 ・安全や健康管理に配慮した部活動であるために、保護者との連携をより大切にしていく。 ・生徒の意見をより反映できるよう工夫をし、生徒の自主的な活動を促していく。
		安全や健康管理に配慮した部活動の推進 生徒アンケート11「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	・安全や健康管理に配慮した部活動が推進されていると回答した生徒が、91.1%であった。 ・保護者（82.4%）の理解を深めることが必要である。	
	学校行事・生徒会活動・HR活動の充実	生徒主体の創意工夫のある学校行事の実施とHR活動の充実 「生徒アンケート12・13・14「そう思う」以上[A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	- 創意工夫のある学校行事 95.9% - 生徒の意見を反映した自主的な生徒会活動・委員会活動 88.5% ・さらに生徒の意見を反映させたい。	

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

人権意識の高揚	人権侵害やいじめの未然防止、早期発見、早期対応 生徒アンケート 15「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「そう思う」以上 98.1%	・(人権・同和教育)引き続き生徒の人権意識を高める学習を推進するとともに、他課と連携して、支え高め合う仲間づくりを推進する。
教育相談の充実	相談しやすい環境作りと早期の適切な支援 生徒アンケート 16「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 85.5%	・(支援)・S L Aによる教育相談の一層の周知を図る。 ・クラス担任、保健室との一層の連携を図る。 ・S S Wとの連携を進める。
保健・環境衛生管理の充実	<u>保健活動や環境衛生管理の充実</u> 生徒アンケート 17「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「そう思う」以上 100% ・保健委員が率先して健康や安全面を向上させるように呼び掛けた。	・次年度も保健委員を中心に健康・安全や災害に対して身を守る意識を高めるよう呼びかける。
生徒の健全育成	適切で公平な生活指導、気持ちの良い挨拶や端正な身だしなみなど健全な生徒の育成 生徒アンケート 18「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 89.3%	・身だしなみ検査の時だけの生徒が多い。教職員の共通認識のもと、日々「ルールを守る態度」を育てる指導が必要。
安全教育の充実	交通安全教育の充実、交通事故の防止 交通事故件数 [A:15件未満、B:20件未満、 C:25件未満、D:30件未満、 E:30件以上]	A	交通事故報告件数 14 件 (3月14日現在)	・昨年度に比べれば減っているが、0件を目指したい。校則同様、道交法を守る態度を身に付けさせる。
	防災訓練の適切な実施と防災教育の推進 生徒アンケート 20「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	生徒アンケート「そう思う」以上 92.5% ・昨年度末、危機管理マニュアルを全面改訂したことで組織的な対応力が高まった。	・災害が身近に迫っているという危機意識を持ち、「自助」「共助」の重要性を高めていく。

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった

	環境整備の推進	清掃活動の充実、 管理場所の点検・整備 生徒アンケート 21「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	B	生徒アンケート「そう思う」以上 81.2% ・清掃活動も大切な「学習の場」であることを理解することを意識付けた。	・次年度に向けては清掃用具を丁寧に使うよう指導していく。
開かれた学校づくり	ニーズに応じた情報提供	ホームページの充実 掲載数/開校日数 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	新居浜西高校だよりの掲載数 194 件/開校日数 195 日 [99.5%] ・開校日に 1 件の記事をホームページに掲載することができている。	・生徒の活動が保護者、地域の方々により詳しく伝わるように、多くの教職員が記事を掲載する。 ・紙面の内容は教頭先生や各課長にお願いしているが、生徒の活動等も掲載すべきか、考える余地がある。 ・総合的な学習の時間における探究活動を中心に、来年度も継続していきたい。
		各種便りの定期的な発行による積極的な情報発信 保護者アンケート 23「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	C	アンケート結果 ・とてもそう思う…9.9% ・そう思う…67.4% ・あまりそう思わない…21.5% ・全くそう思わない…1.3%	
	社会総がかりで取り組む教育の推進	地域、家庭、同窓会との連携の強化 <u>事業所、地域人材、保護者、同窓生と連携した教育活動</u> [A:50 回以上、B:40 回以上、 C: 30 回以上、D:20 回以上、 E: 20 回未満]	B	・探究活動 2 年 8 回 1 年 19 回 ・キャリアガイダンス 4 回 ・PTA 総会、理事会 4 回 ・サポーターガイダンス、体験学習、公開授業 各 2 回 ・市役所とのワークショップ、西高祭、運動会、類型選択説明会 各 1 回	
働き方改革 業務改善・	働き方改革の推進とやりがいのある職場づくり	超過勤務の多い教職員の減少 超過勤務時間 80 時間以上 [A:0%、B:10%未満、C:20%未満、 D:30%未満、E:30%以上]	D	・4 月～12 月の平均が 20.3%であり、その多くが休日の部活動指導のための時間であった。しかし、数名の先生方は夜遅くまで残って勤務されている現状である。	・百問繚乱など ICT の利活用、業務の平準化、テレワークの推進などにより、今後も学校における働き方改革を図り、ワーク・ライフ・バランスが充実した、風通しの良い職場環境づくりに努めたい。
		働くことへの充実感・満足感 教職員アンケート 26「そう思う」以上 [A:90%以上、B:80%以上、 C:70%以上、D:60%以上、 E:60%未満]	A	・学校評価アンケート（教職員）「そう思う」以上が 100%であった。 すべての教職員が西高で働くことに充実感を持っている結果であった。	

A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった